

新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑱

令和3年8月検針分（主に6・7月使用分）

用途別の影響

令和3年8月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、水量は約12,000 m³、1%の減、料金は約6,070万円、85%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約20,000 m³、2%の増、料金は約140万円、1%の増となりました。

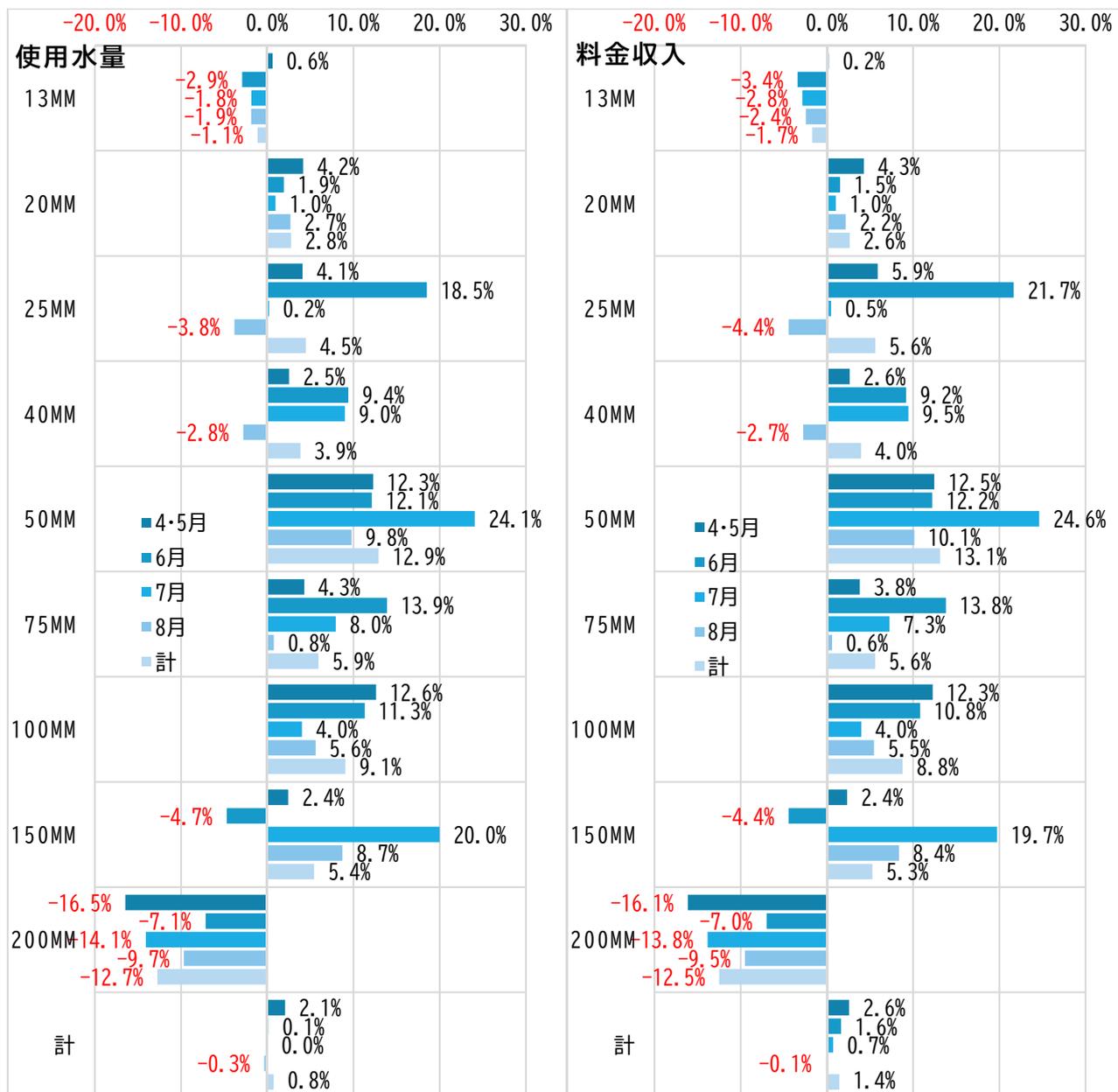
主に業務用となる25mm以上の口径は、前年度との比較では、水量は約7,000 m³、2%の増、料金は約1,170万円、20%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約32,000 m³、9%の減、料金は約760万円、10%の減となりました。

合計では、前年度との比較では水量は約6,000 m³、0.3%の減、料金は約7,230万円、55%の増となり、前々年度との比較では水量は約12,000 m³、1%の減、料金は約620万円、3%の減となりました。料金収入の大きな増加は、昨年度の減額措置の影響によるものです。

検針年	区分	8月検針分（6・7月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1 (H31)	水量 (m ³)	1,356,309	342,121	1,698,430
	金額(税抜き:円)	131,081,695	77,993,405	209,075,100
	供給単価(円)	96.65	227.97	123.10
R2	水量 (m ³)	1,389,061	303,228	1,692,289
	金額(税抜き:円)	71,818,669	58,715,531	130,534,200
	供給単価(円)	51.70	193.63	77.13
R3	水量 (m ³)	1,376,617	309,889	1,686,506
	金額(税抜き:円)	132,512,350	70,371,635	202,883,985
	供給単価(円)	96.26	227.09	120.30
対R2 増減 (コロナ後 との比較)	水量 (m ³)	-12,444	6,661	-5,783
	増減率	-0.90%	2.20%	-0.34%
	金額(税抜き:円)	60,693,681	11,656,104	72,349,785
	増減率	84.51%	19.85%	55.43%
	供給単価(円)	44.56	33.45	43.16
	増減率	86.18%	17.28%	55.96%
対R1 増減 (コロナ前 との比較)	水量 (m ³)	20,308	-32,232	-11,924
	増減率	1.50%	-9.42%	-0.70%
	金額(税抜き:円)	1,430,655	-7,621,770	-6,191,115
	増減率	1.09%	-9.77%	-2.96%
	供給単価(円)	-0.39	-0.88	-2.80
	増減率	-0.40%	-0.39%	-2.28%
			R2金額増減のうち減額措置分	△ 72,581,815

口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、13、25、40、200 mmの口径で減となりました。13 mmは3月連続、25と40 mmは、今年度初の減少になります。



※料金収入は、減額措置の影響を差し引いています。

考察

昨年8月検針分は、新型コロナウイルス感染症の拡大による家庭での需要増、業務用での需要減が顕著だったことに加え、料金の減額措置を実施しました。今年8月検針分では、主に家庭用の20mm以下は、コロナの影響で増えた前年度を下回り、主に業務用の25mm以上は、コロナの影響で減少した前年度を上回っています。家庭から業務用へと需要が移っている状況が続いていますが、コロナ前の前々年度との比較では、20mm以下の増加と25mm以下の減少が続いていることから、コロナ前の状態には戻りきってはいないものと推測できます。

また、料金収入の多くを占める25mm以上合計で、使用水量の伸びが続いていることは、安定的な経営につながるものですが、一部の口径で減少がみられるとともに、総合計は今年度初の減少となりました。25mm以上の利用動向を引き続き注視するとともに、次月の検針結果は天候の影響を大きく受けていると思われ、注意が必要です。